



上瀧 政登

防災・減災の町づくり 水害被害は

市長

土砂災害・住宅や農地など
広く被害がある

上瀧 2年前にも同じように大水害に見舞われた。現時点で把握している災害の状況はどうか。

市長 生活基盤施設の被害は国道県道が6ヶ所・市道47ヶ所・市の河川8ヶ所・農地が15ヶ所・農道が55ヶ所・林道が52ヶ所・水路が43ヶ所・ため池が4ヶ所・土砂流失やのり面崩壊多数、農林業では農地・農産物・農業用ハウス、農業機械、商工業では店舗の浸水・倉庫や車輛の水没等業務を一時停止され再開に向けて努力されている

る。公共施設も被害を受けているが復旧復興に向けて職員一丸となって対応していく。

上瀧 農業者は農産物を生産することによって生計を立てているが、自然災害のリスクを負っている。共済組合では新しい制度として収入保険を推進している。市としての掛金に対し補助することはできないか。

産業部長 助成についての検討を進めていく。



▲被災状況 牛津町江津交差点

池が4ヶ所・土砂流失やのり面崩壊多数、農林業では農地・農産物・農業用ハウス、農業機械、商工業では店舗の浸水・倉庫や車輛の水没等業務を一時停止され再開に向けて努力されている



永瀧 和正

「また氾濫」牛津川流域の 対策は

市長

激甚対策緊急プロジェクトの遂行に努力する

「またも浸水、被害者の心は折れている」

永瀧 一昨年に続き今年も大水害。酷いところは4年間に3回。被災者の苦しみに取り添った行政の施策が必要。

市長 行政の支援等を今検討中。復旧・復興の対策を講じていきたい。

越流しない牛津川を

永瀧 牛津江排水機場のポンプが止まると牛津町の中心部が浸水する。その対策として

- 牛津江川の大改修
- 牛津江川遊水池を造る
- 排水ポンプの増設
- 牛津江川の排水を直接有明海まで流す
- 等が考えられるが。

市長 意見等を踏まえ、発想を変えた議論も必要。



▲牛津江川の越流などで浸水した街の中心部

建設課長 ポンプ設置から30年以上経過している。ポンプ更新を考えている。



諸泉 定次

2年前の教訓を生かした 避難所は

市長

想定される災害状況で
避難所を開設している

諸泉 2年前の災害の教訓での今回8月豪雨の避難所はどう改善されたのか。

総務部長 令和元年は砥川小周辺が水没した。そこで牛津公民館及び牛津体育センターを開設。浸水の少ない牛津小も開設した。災害の状況に応じた避難所の開設を行っている。

諸泉 避難所の設定・誘導・運営について、どのように対応しているのか。

福祉部長 市民部・福祉部・教育委員会は対策部として3つの部を1つの班として編成し当番制で



▲拠点4か所の1つ牛津公民館での避難風景

運営している。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮したマニュアルを作成し、スペースの確保や避難所の換気など事前準備から閉鎖まで感染対策をしながら運営している。

諸泉 長期化した避難となると被災者も市役所職員もお互い疲労こんぱいする。ホテル・旅館も検討しているのか。

防災対策課長 長期化は必要に応じて専門的な施設の入所・ホテル等の宿泊施設の活用も検討すべきと考えている。

その他の質問

○下水道エリアの見直しについて。



松尾 義幸

濁流が小城公園まで 流れている

市長

特定はできないが、水の流れは認識している

松尾 松本山採石場の終息について質問する。

平成11年6月、松本山採石場の地滑りや亀裂確認後に土石流が発生するシミュレーションが行われている。明らかにすべきではないか。

建設部長 県の河川砂防課に問い合わせ、資料はないとの答えだった。

松尾 平成21年7月、松本山採石場の土砂崩れが実際起こっている。その規模について質問する。

建設部長 平成21年7月2日午前10時20分頃、地滑りが発生。土砂の流出量は、約3万㎡と推定さ

れている。

松尾 松本山採石場から流出している濁流対策について2つ質問する。

①沈殿池は、いくつあるか。

②濁流が小城公園の池の中まで到達している認識は市長にあるか。

建設部長 ①沈殿池は1

号から7号まであり、排水経路は、各沈殿池を経由して石体川に排出。

市長 ②松本山採石場からは特定できないが、松屋の堀を通じて小城公園に流れて行く水の流れについては認識している。



しゃくたいがわ ▲石体川を流れる濁水



西 正博

より安全な通学路の確保への施策は

教育長 危険箇所の解消目指し
関係機関と連携する

西 6月28日千葉県八街市にて、子ども5人が死傷する痛ましい事故が発生した。見通しの良い通学路にて発生したことを国は重大視し、総理自ら道路の総点検と緊急対策を指示した。文部科学省と国土交通省、警察庁は7月9日、全国の関係機関に、通学路の危険箇所

は10月末をメドにしている。小城市の点検内容と対策案の進捗状況をお尋ねする。

八街市では、スクールバスの導入を決められたが、国会において文部科学省は、地域の実状や特性でバスの導入検討も必要だと答弁している。小城市も検討して良いのでは。

市長 スクールバスについては、必要性などを踏まえて協議の必要があると考える。

所

教育長 7月9日に小城警察署主導でも立ち会い、朝7時より市道大井出平原線で確認した。対策案については、関係機

合同点検のポイント	
これまでの危険箇所	
●道路が狭い	●見通しが悪い
●人通りが少ない	●大型車が頻繁に通る など
今回、盛り込まれた箇所	
●車の速度が上がりやすい、見通しのよい道路や幹線道路の抜け道	
●過去に事故に至らなくても、ヒヤリハットの事例があった	
●保護者、見守り活動者、地域住民から市区町村へ改善要請があった	

▲今回の緊急通学路合同点検のポイント



香月チエミ

子どもたちを守るための感染防止対策は

教育長 児童生徒の教育を受ける権利を保障していく

香月 小中学校における新型コロナウイルス感染症防止策は、
①オンライン学習の環境整備

- ②部活動対策
- ③心のケア
- ④放課後児童クラブ
- ⑤ワクチン接種

教育長 ①学校閉鎖等での学校と家庭間でのオンライン授業について、まず小学6年生と中学3年生を対象に、遅くとも10月ぐらいから各学校で試験的な運用を開始したい。

教育長 ②全部活動について道具や用具の消毒、更衣時のマスク着用、食事は一切しない、水分補給時の注意など含め、集

合場所でのマスクなしでの飲食、会話に注意を払う。

や食事以外のマスク着用等の現況の中で最大限の対策を行なっている。

教育長 ③この感染症という病気のものの不安、活動を制限されるストレス等のなかで子どもたちのSOSを素早くキャッチできる体制を取りながら進めている。アンケート調査は月1回以上各学校で実施している。担任等以外のテレホン相談先の活用案内も配布している。

市長 ⑤子どもたちに関わる職種の教職員、支援員・保育士等接種希望者はほぼ完了している。12歳から15歳の1回目接種は260人が受けている状況。

教育長 ④昼食やおやつ時は一方向を向き極力会話なし等の飛沫感染防止、運動



▲コロナ禍で様変わりした運動会



富永 正樹

牛津川遊水池事業の 現在の状況は

市長

代替候補地について
国、地元役員と協議中

富永

- ①牛津川遊水池事業の進捗状況は
- ②遊水池計画で三里小学校の今後は
- ③通学路の安全対策は。また、1年前の9月議会で答弁されたが、砂田踏切への対応はそのままになっている。
- ④コロナ禍の放課後児童クラブの安心安全な取り組みは。

市長

①山崎ポンプ場周辺の初期湛水用地の買収は完了している。移転の代替地の候補地は、地域のコミユニティが分断されないよう協議を進めている。

教育長

②地域とともに歩んできた伝統・歴史ある学校で、引き続き小規模校の特色を生かし、一人一人のきめ細かな教育を展開している学校づくりに取り組んでいきたい。

建設部長

③平成24年度

から年1回市内通学路の点検をし、教育委員会、建設課、防災対策課、佐賀国道事務所、佐賀土木事務所、小城警察署の関係機関で小城市通学路安全推進会議を設置し、毎年協議、確認をしている。砂田踏切は社会資本整備総合交付金を活用し、ドライバーの注



▲通学路安全確保のための一日も早い対応を

意喚起を目的としたカラー舗装で様子を見たい。④コロナ禍でもあり支援員全体との意見交換の場は難しいが、支援員さんの意見が聞き取れる環境づくりに心がける。



中尾 勝吉

ドローンの活用について

市長

色んな活用方法の可能性がある

中尾

ドローンを活用した地方創生の実現とは、どのようなことか。

市長

ドローンの活用については、小城市として、非常に多くの可能性がある。今回は、災害状況の確認等にドローンを活用している。今後の行政サービスにおいて、どのような形で役に立つとは見定めていないが、いろいろな活用方法があり、地方創生に役立つと認識している。

防災課長

8月の豪雨では、ドローンにより上空から市内の冠水状況、また、災害発生後では、被害状況調査を主に産業部

や建設部が中心となり、ドローンの活用をしている。

中尾

今後、ドローンの活用について防災や災害調査だけではなく、他の活用の取り組み等、将来計画はあるのか。

総務部長

小城市では既に災害現場の確認やプロモーション動画の撮影等での活用を行っている。今後、法整備が進みドローンの性能が上がれば、さらに活用できる部門は増えてくる。観



▲小城市で所有しているドローン（無人航空機）